

当初設計

2024年度

赤坂30号線・6-1

福山市 赤坂 町 地内

道路改良工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=22.0m	
	道路幅員	W=6.0m	
	擁壁工	L=21.5m (V=39m3)	
	排水構造物工	L=39m	
	防護柵工	L=3m	
	舗装工	A=34m2	
	雑工	一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路改良工事（赤坂30号線・6-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 道路工事に伴う中国電力の架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。ただし、架空線等事故防止対策簡易ゲートに要する費用については、安全費として共通仮設費率に含んでいる。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

第2節 道路工事に伴うNTTの架空線の防護管に要する費用について

建設工事等に伴うNTT 架空ケーブル等への防護措置に係る費用は、現在見込んでいない。受注者が労働安全衛生法第20条に基づき必要な措置を講ずる時で、発注者が防護用ケーブルカバーを必要と認める場合かつ、NTTケーブルが市道内にある場合は、見積もり等による決定額とする。

第3節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6節 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

- ・本工事では、土砂購入を見込んでいる。
- ・当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- ・上記により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。
- ・使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第7節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）

- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）

- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの

- ・各処分場の現地確認写真

- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第8節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・実施伝票は原本を提出すること。

第9節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）

が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界バラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
- ・「第20 回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・ロゴ標示期限は2026年（令和8 年）3月31日とする。
（デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

第3節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～16に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 土木工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を月単位で達成した場合に限り、経費の補正を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.04
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.03（港湾工事を除く。）
エ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
オ 現場管理費	1.05（港湾工事を除く。）
カ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.03

12 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

13 農林工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価及び標準単価の補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.05

(2) 治山林道必携適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.05
イ 機械経費（賃料）	1.04
ウ 共通仮設費	1.04
エ 現場管理費	1.06

14 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、

電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

- 15 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

- 16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
鉄筋工		1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 4週8休以上
底面工	1.03
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.04
足場工	1.02
鉄筋工	1.04
吊鉄筋工	1.04
型枠工	1.03
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.04
止水板工	1.04
上蓋工	1.04
伸縮目地工	1.02
係船柱取付	1.04
防舷材取付	1.04
車止・縁金物取付	1.04
係船柱撤去	1.04
防舷材撤去	1.04
車止撤去	1.04
電気防食取付	1.04
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.04
防砂目地板取付工（水中施工）	1.03
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.03
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.03
ペトロラタム被覆	1.04
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.04
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.04
かき落とし工	1.04
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
汚濁防止枠設置・撤去	1.02
灯浮標設置・撤去	1.03
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.04
異形ブロック製作型枠工	1.04
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.04
異形ブロック製作給熱養生	1.03

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
軟弱地盤処理工		1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.05
鉄筋工（ガス圧接）		1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
軟弱地盤処理工		1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 4 週 8 休以上	月単位 4 週 8 休以上
区画線工		1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.02
排水構造物工		1.02
コンクリートブロック積工		1.02
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
鋼橋塗装工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.05
排水構造物工		1.05
コンクリートブロック積工		1.05
構造物とりこわし工	機械	1.04
	人力	1.05

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日モデル工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

② 建築工事

週休2日
モデル工事

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日モデル工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-06.09.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	04 道路改良工事		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】		m3			Y1E01010101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	60	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	20	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
路体盛土工					Y1E010103 レベル3
	1	式			
路体(築堤)盛土 【施工幅員】		m3			Y1E01010301 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	30	m3			SPK24040004 00 単第0 -0002 表
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	3	m3			SPK24040004 00 単第0 -0003 表
路床盛土工	1	式			Y1E010105 レベル3
路床盛土 【施工幅員】		m3			Y1E01010501 レベル4
路床盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	30	m3			SPK24040005 00 単第0 -0004 表
路床盛土 施工幅員2.5m未満	10	m3			SPK24040005 00 単第0 -0005 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E01010502 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)	110	m3			SPK24040002 00 単第0 -0006 表
土材料		m3			Y1E01010507 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処理土					F0004 00
	110	m3			
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】					Y1E01011002レベル4
		m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)	60	m3			SPK24040002 00
					単第0 -0006 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)	20	m3			SPK24040002 00
					単第0 -0006 表
残土等処分					Y1E01011003レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分(硬岩) リサイクルプラント	60	m3			F0003 00
残土処分(粘性土) リサイクルプラント	20	m3			F0001 00

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
擁壁工					Y1E0106 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010601 レベル3
	1	式			
床掘り 【土質】					Y1E01060102 レベル4
		m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040015 00
	30	m3			単第0 -0007 表
埋戻し 【土質区分,土質】					Y1E01060103 レベル4
		m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040020 00
	10	m3			単第0 -0008 表
場所打擁壁工(構造物単位)					Y1E010605 レベル3
	1	式			
重力式擁壁					Y1E01060502 レベル4
		m3			
重力式擁壁 擁壁平均高さ1m超2m未満 基礎碎石無し 均しCo有り					SPK24040070 00
	12	m3			単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
重力式擁壁 擁壁平均高さ2m以上5m以下 基礎砕石無し 均しCo有り	27	m3			SPK24040070 00 単第0 -0010 表
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1E01090102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK24040015 00 単第0 -0007 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E01090103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK24040020 00 単第0 -0008 表
管渠工	1	式			Y1E010904 レベル3
ヒューム管(B形管) 【管規格】		m			Y1E01090402 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ヒューム管(B形管) 据付 管径200mm 固定基礎90°巻き 基礎砕石有り 外圧管1種	4	m			SPK24040090 00 単第0 -0011 表
ヒューム管(B形管) 据付 管径300mm 固定基礎90°巻き 基礎砕石有り 外圧管1種	4	m			SPK24040090 00 単第0 -0012 表
暗渠排水管 【作業区分,管種別,管径】		m			Y1E01090403 レベル4
暗渠排水管 据付 直管 200 ~ 400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径300mm	4	m			SPK24040092 00 単第0 -0013 表
場所打水路工	1	式			Y1E010907 レベル3
現場打水路 【内幅,内高,Co規格】		m			Y1E01090701 レベル4
L-2 B300-H300 ~ 400	16	m			V00001 00 単第0 -0014 表
舗装工	1	式			Y1E0204 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1E02040403レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	34	m2			SPK24040234 00 単第0 -0020 表
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1E02040409レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	34	m2			SPK24040241 00 単第0 -0021 表
防護柵工	1	式			Y1E0208 レベル2
路側防護柵工	1	式			Y1E020801 レベル3
ガードレール 【Gr規格,施工規模,曲線部補正】		m			Y1E02080101レベル4
防護柵設置工(Gr) コンクリート建込 - 塗装品_Gr-C-2B [規]21m未満	3	m			SS000123 00 単第0 -0022 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵撤去工	1	式			Y1E011201 レベル3
防護柵撤去(ガードレール)		m			Y1E01120101レベル4
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)	7	m			SS000127 00 単第0 -0023 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外] , 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ	0.1	t			F0005 00
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】		m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	6	m3			SDT00031 00 単第0 -0024 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	6	m3			SPK24040151 00 単第0 -0025 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
C o 殻受入費（無筋） リサイクルプラント	15	t			F0002 00
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1E01121603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)	0.1	t			SPK24040410 00 単第0 -0026 表
雑工	1	式			Y1E0106 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010601 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 【土質】		m3			Y1E01060102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	8	m3			SPK24040015 00 単第0 -0007 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E01060103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	5	m3			SPK24040020 00 単第0 -0008 表
路床盛土 【施工幅員】		m3			Y1E01010501レベル4
路床盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	40	m3			SPK24040005 00 単第0 -0004 表
場所打擁壁工(構造物単位)	1	式			Y1E010605 レベル3
重力式擁壁		m3			Y1E01060502レベル4
重力式擁壁 擁壁平均高さ1m超2m未満 基礎碎石無し 均しCo有り	7	m3			SPK24040070 00 単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート舗装工					Y1E020412 レベル3
	1	式			
上層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1E02041204 レベル4
上層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	31	m2			SPK24040235 00
コンクリート舗装 【Co規格,Co規格,舗装厚】		m2			単第0 -0027 表 Y1E02041207 レベル4
コンクリート舗装 t=10cm	31	m2			V00002 00
仮設工					単第0 -0028 表 Y1E0115 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1E011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員		人			Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B	30	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0013

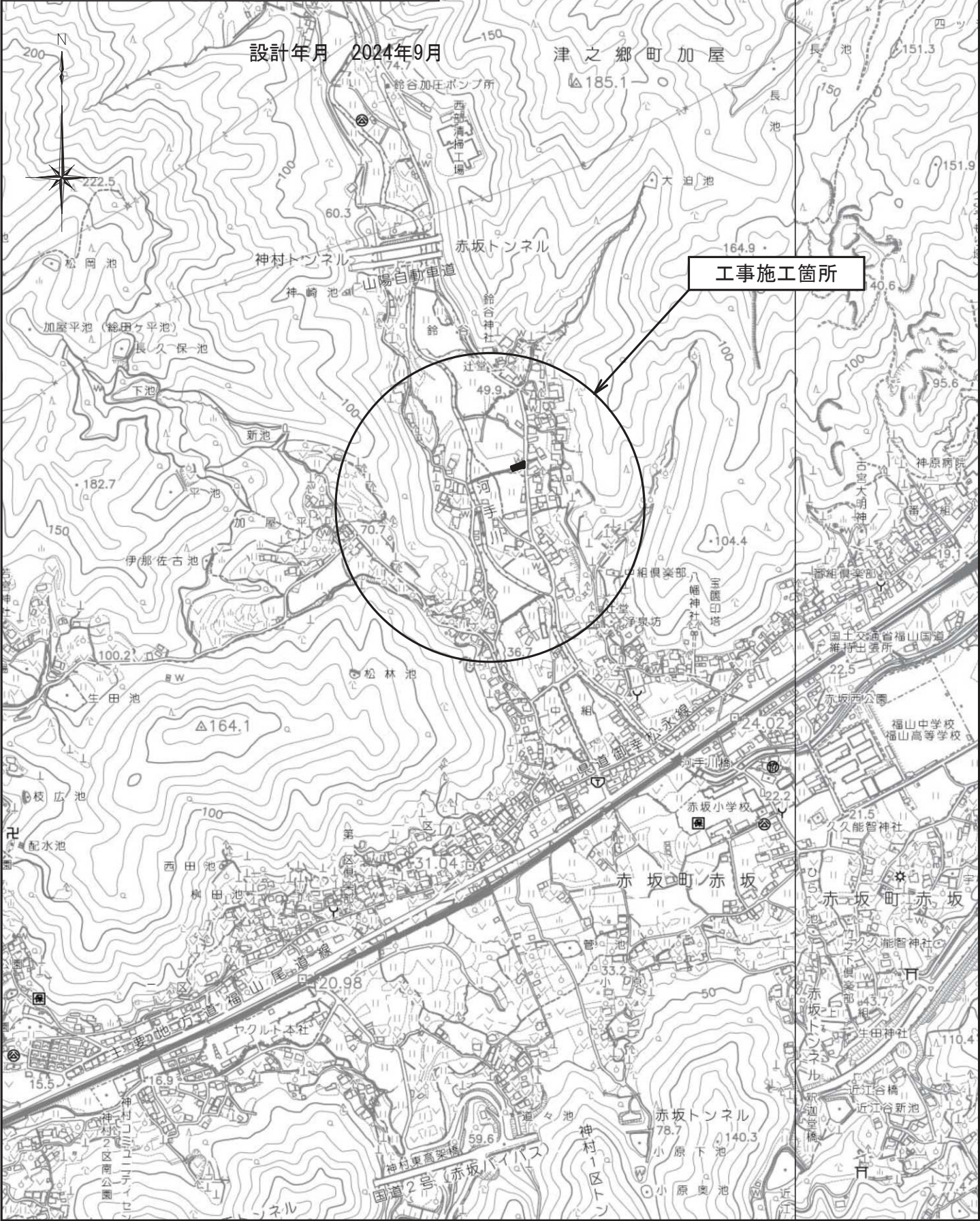
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					
契約保証費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

図面番号	1 / 9	縮	尺	S=1:10,000
工種	道路改良工事			
種別	位置図			番号
路線名	赤坂30号線・6-1			
工事箇所	福山市赤坂町地内			
福 山 市				

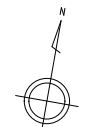
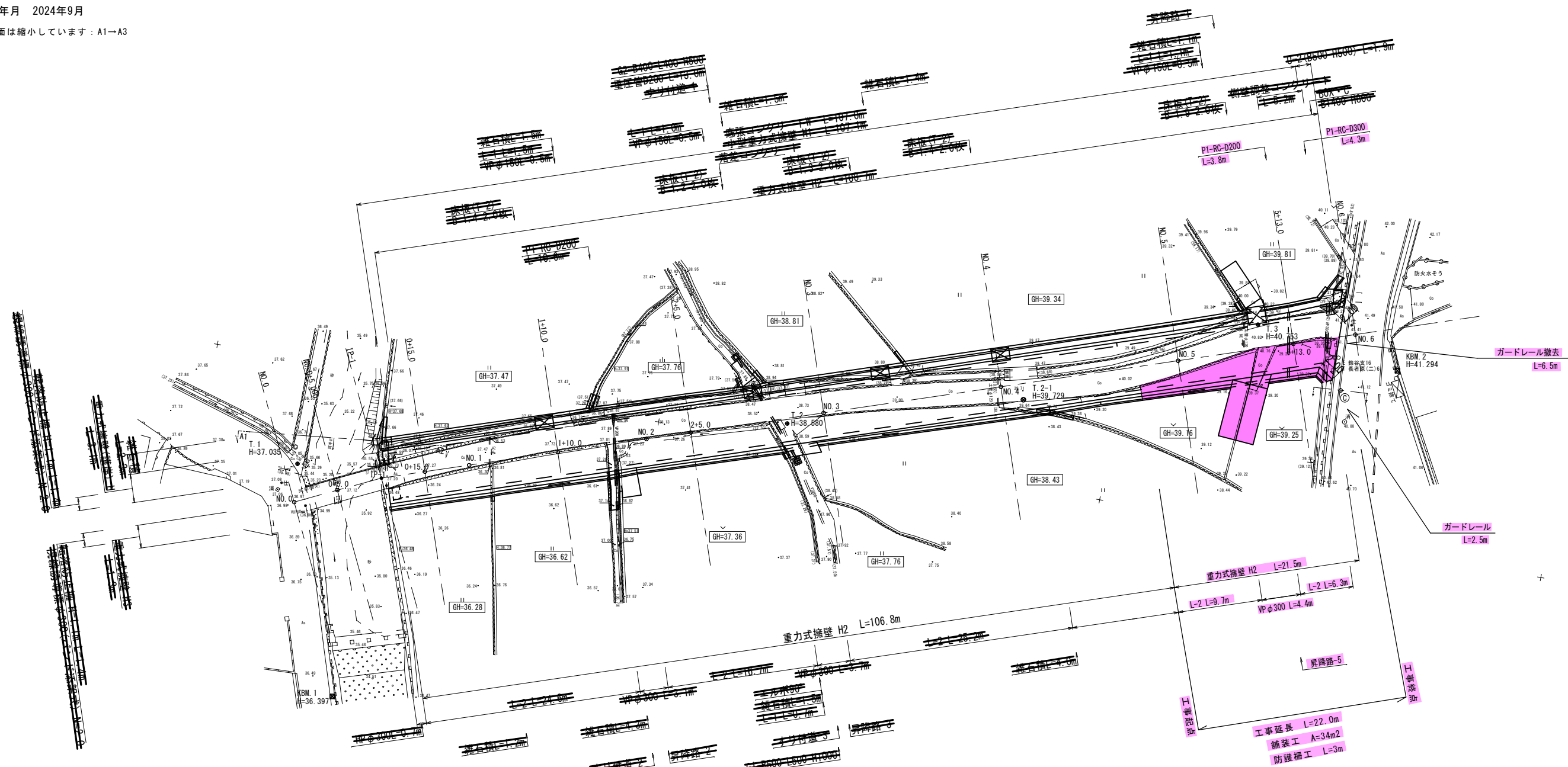


図面番号	2 / 9	縮 尺	図 示
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	平 面 図	番 号	1 / 1
路 線 名 河 川	赤坂30号線・6-1		
工事箇所	福 山 市 赤 坂 町 地 内		
福 山 市			

設計年月 2024年9月

※この図面は縮小しています：A1→A3

平面图 S=1:250


$$S=1/250$$


IP, NO	1
I A	6° 59' 00"
R	0.000
T L	0.000
C L	0.000
S I	0.000

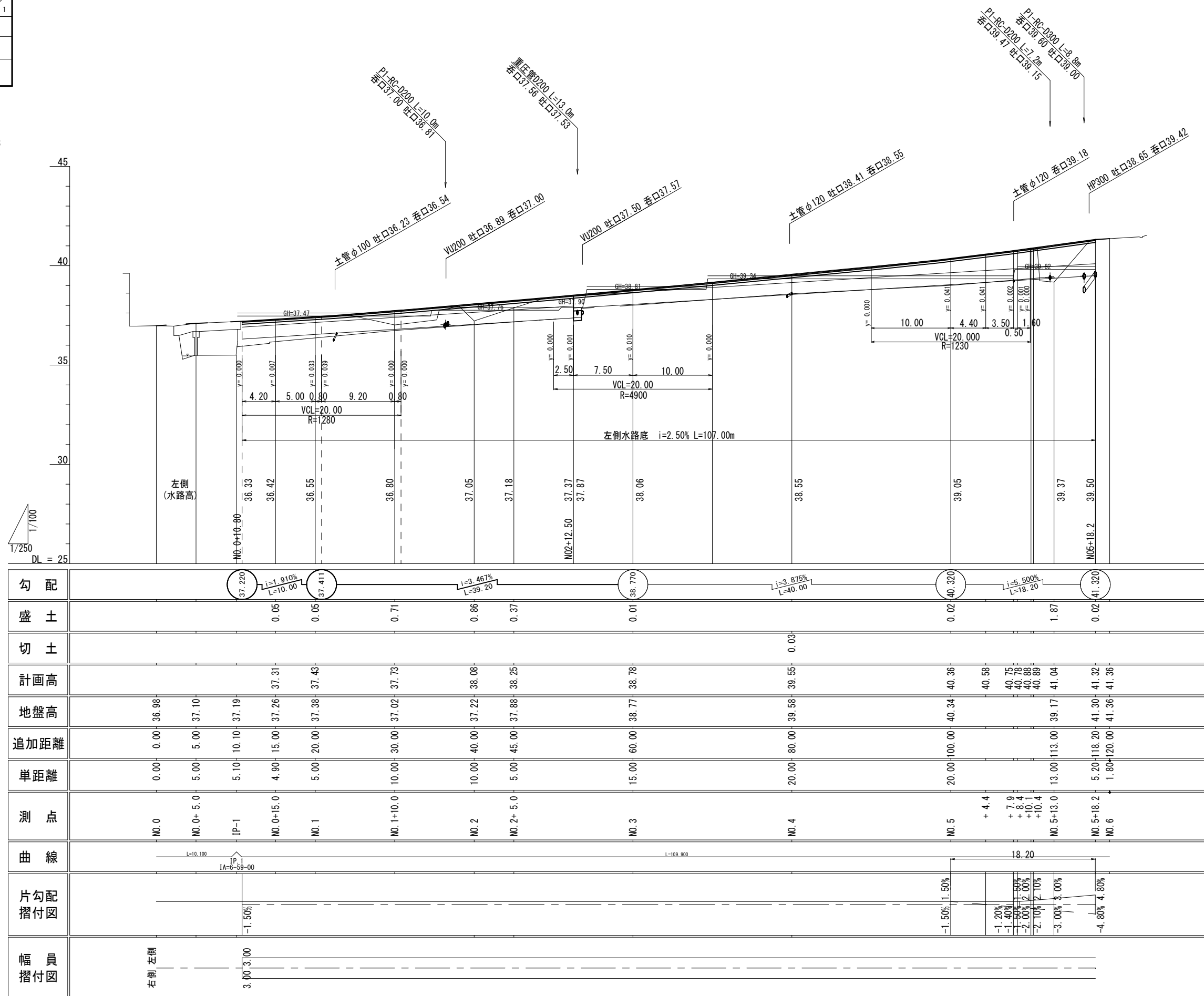
図面番号	3 / 9	縮尺	図示	
工種	道路改良工事			
種別	縦断図	番号	1	1
路線名 河川	赤坂30号線・6-1			
工事箇所	福山市赤坂町地内			
福 山 市				

設計年月 2024年9月

※この図面は縮小しています：A1→A3

縦断図 V=1:100
H=1:250

V=1:100
H=1:250



図面番号	6 / 9	縮 尺	図 示	
工 種	道 路 改 良 工 事			
種 別	構 造 図		番 号	1 / 3
路 線 名 河 川	赤坂30号線・6-1			
工事箇所	福 山 市 赤 坂 町 地 内			
福 山 市				

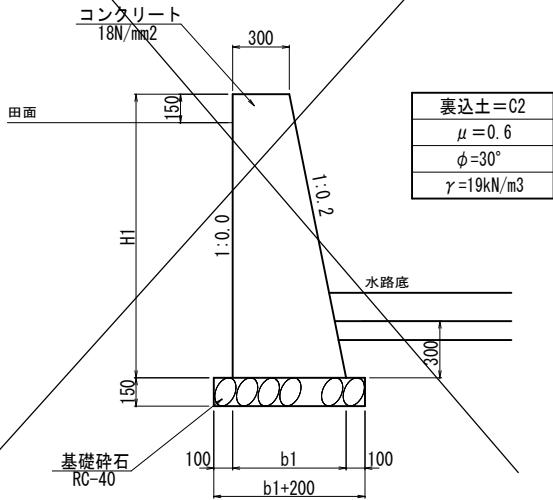
設計年月 2024年9月

※この図面は縮小しています：A1→A3

小型重力式擁壁

H1 (SGW46)

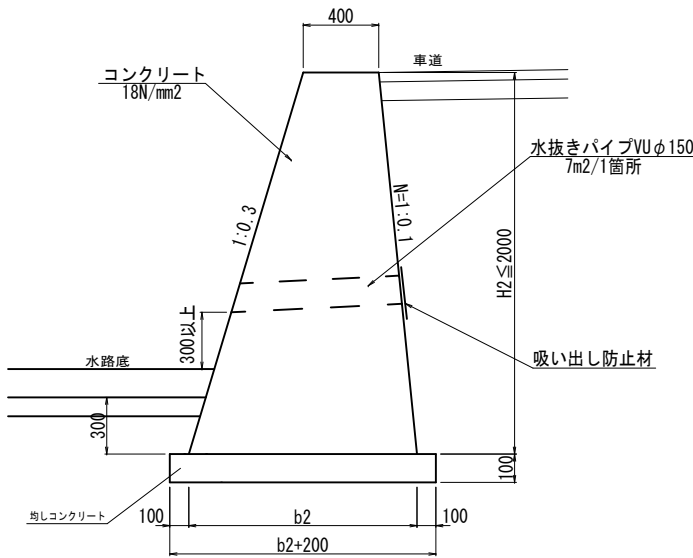
S=1:20



重力式擁壁

H2 (GW24)

S=1:20



H2	N
0.00~2.00	1 : 0.10
2.00~3.00	1 : 0.17

裏込土=C2
μ=0.6
φ=30°
γ=19kN/m3

構造図

H1 寸法及び数量表

H1	b1	コンクリート	型 枠	基礎碎石	基面整正	地盤反力度
1050	510	0.43	2.12	0.71	0.7	SGW-46 MAX 51kN/m2
1120	524	0.46	2.26	0.72	0.7	
1160	532	0.48	2.34	0.73	0.7	
1180	536	0.49	2.38	0.74	0.7	
1270	554	0.54	2.57	0.75	0.8	
1310	562	0.56	2.65	0.76	0.8	
1350	570	0.59	2.73	0.77	0.8	
1390	578	0.61	2.81	0.78	0.8	
1440	588	0.64	2.91	0.79	0.8	
1500	600	0.68	3.03	0.80	0.8	
1520	604	0.69	3.07	0.80	0.8	SGW-46 MAX 69kN/m2
1540	608	0.70	3.11	0.81	0.8	
1550	610	0.71	3.13	0.81	0.8	
1640	628	0.76	3.31	0.83	0.8	
1650	630	0.77	3.33	0.83	0.8	
1800	660	0.86	3.64	0.86	0.9	

・H=1.50mまではSGW-46であるが、H=1.51m~H=1.80mmまではSGW-46寸法で計算し安定性を確認した。

・地盤反力度は、H=1.50mまでは標準設計SGW-46の値を、H=1.51m以上は安定計算の値とした。

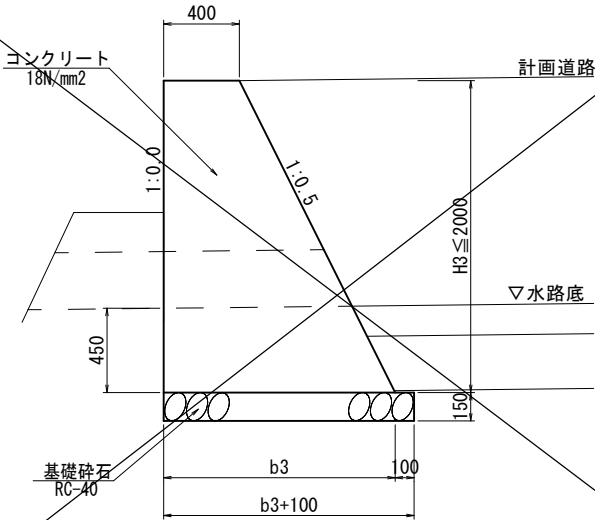
H2 寸法及び数量表

H2	N	b2	コンクリート	型 枠	単管傾斜足場	地盤反力度
960	1:0.10	784	0.57	1.97		GW-24 MAX 55kN/m2
1010		804	0.61	2.07		
1020		808	0.62	2.09		
1050		820	0.64	2.15		
1060		824	0.65	2.17		
1130		852	0.71	2.32		
1290		916	0.85	2.64		
1300		920	0.86	2.66		
1320		928	0.88	2.70		
1340		936	0.90	2.75		
1370		948	0.92	2.81		
1390		956	0.94	2.85		
1410		964	0.96	2.89		
1440		976	0.99	2.95		
1480		992	1.03	3.03		
1500	1:0.17	1000	1.05	3.07		GW-47 MAX 83kN/m2
1510		1004	1.06	3.09		
1540		1016	1.09	3.16		
1550		1020	1.10	3.18		
1600		1040	1.15	3.28		
1680		1072	1.24	3.44		
1700		1080	1.26	3.48		
1710		1084	1.27	3.50		
1720		1088	1.28	3.52		
1800		1120	1.37	3.69		
1820		1128	1.39	3.73		
1840		1136	1.41	3.77		
1850		1140	1.42	3.79		
1870		1148	1.45	3.83		
2000		1200	1.60	4.10		
2000	1:0.17	1340	1.74	4.12	4.1	
2090		1382	1.86	4.30	4.3	
2160		1415	1.96	4.45	4.5	
2200		1434	2.02	4.53	4.5	
2260		1462	2.10	4.65	4.7	
2340		1500	2.22	4.82	4.8	
2390		1523	2.30	4.92	4.9	
2420		1537	2.34	4.98	5.0	
2550		1599	2.55	5.25	5.3	

重力式擁壁

H3 (GW15)

S=1:20



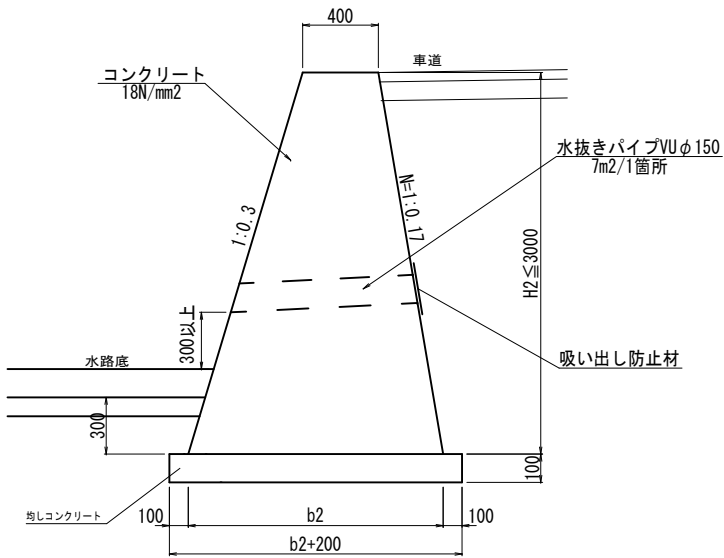
H3 寸法及び数量表

H3	b3	コンクリート	型 枠	基礎碎石	基面整正	地盤反力度
1550	1175	1.22	3.28	1.28	1.3	GW-15 MAX 92kN/m2
1570	1185	1.24	3.33	1.29	1.3	

重力式擁壁

H2 (GW47)

S=1:20



H2	N
0.00~2.00	1 : 0.10
2.00~3.00	1 : 0.17

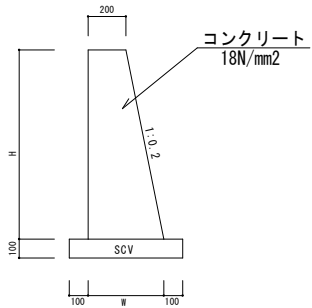
裏込土=C2
μ=0.6
φ=30°
γ=19kN/m3

図面番号	8 / 9	縮 尺	図 示
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	構 造 図	番 号	3 / 3
路 線 名 河 川	赤坂30号線・6-1		
工事箇所	福 山 市 赤 坂 町 地 内		
福 山 市			

設計年月 2024年9月

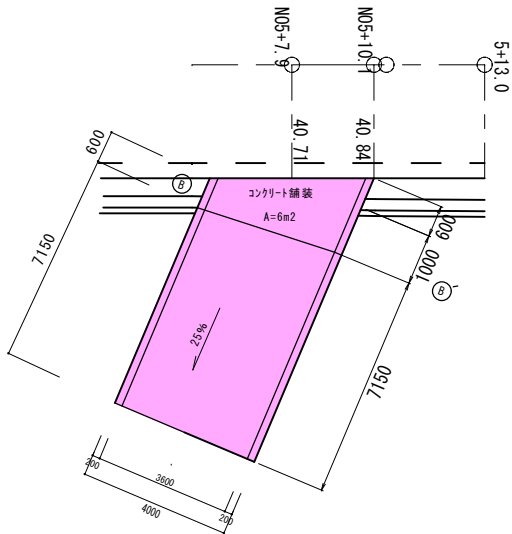
※この図面は縮小しています：A1→A3

小型擁壁



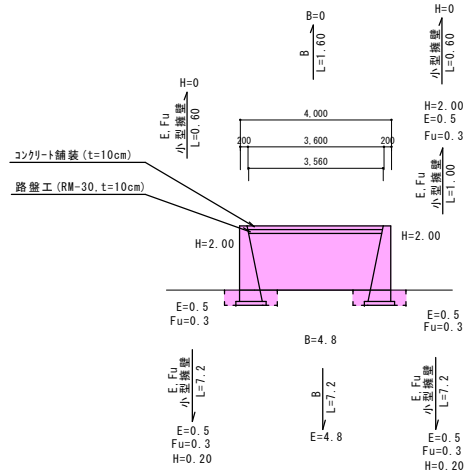
1m当り		
H	W	CV
0.20	0.24	0.044
2.00	0.60	0.800

平面図

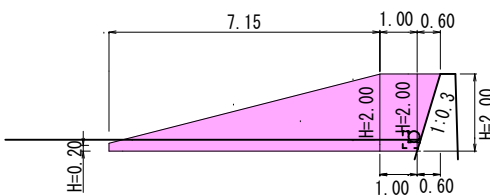
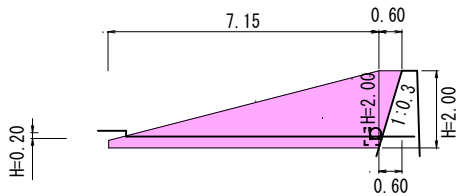


昇降路-5
N05+10.1

断面図



展開図



H=1.70

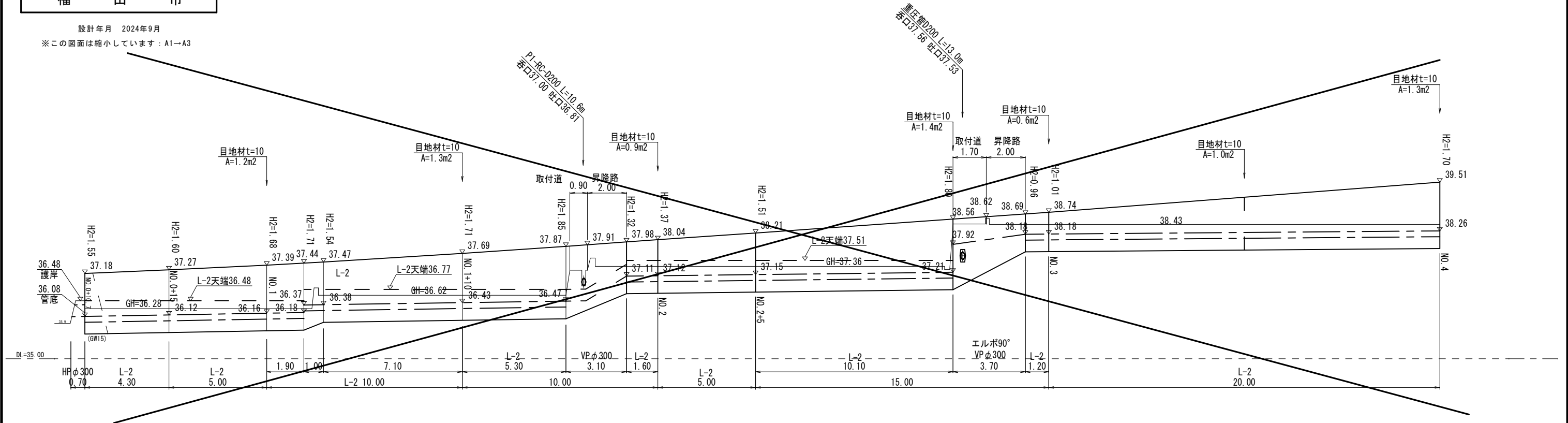
図面番号	9 / 9	縮 尺	図 示
工 程	道 路 改 良 工 事		
種 別	擁 壁 展 開 図	番 号	1 / 1
路 線 名	赤坂30号線・6-1		
工事箇所	福 山 市 赤 坂 町 地 内		
福 山 市			

擁 壁 展 開 図

V=1:50
H=1:100

重力式擁壁 右側 (H2)

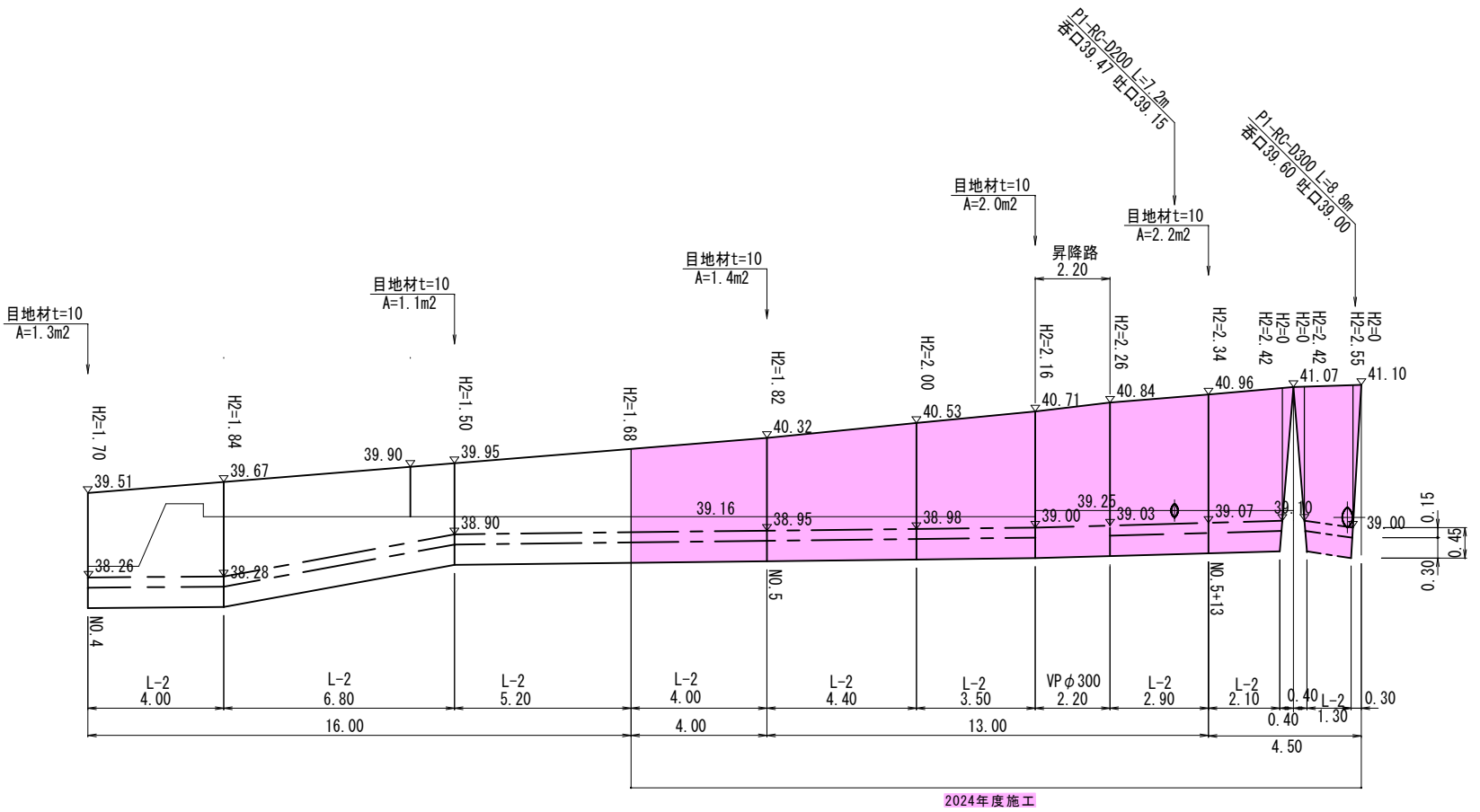
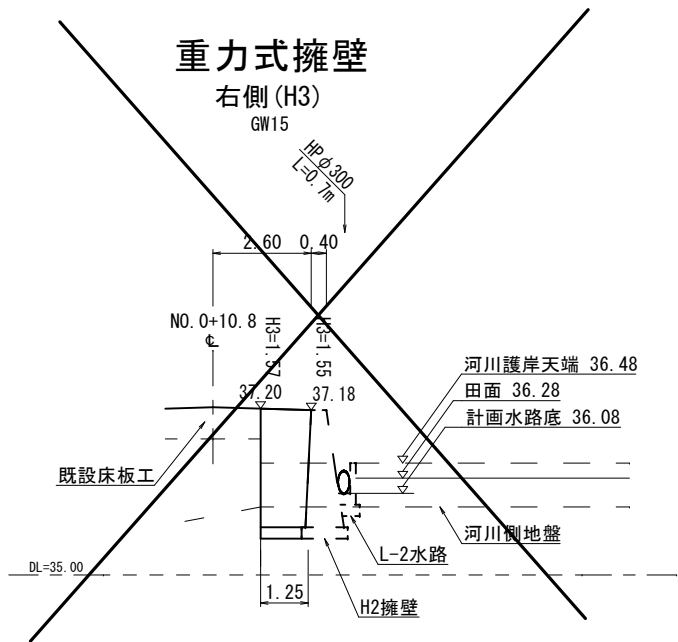
設計年月 2024年9月
※この図面は縮小しています：A1→A3



重力式擁壁

右側 (H3)

GW15



以下参考図書

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 27.26%

標準
労務構成比: 61.70%

SPK24040001
材料構成比: 11.04%

単第0 -0001 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 1,212.30000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPK24040004

単第0 -0002 表

1
標準単価： m3 当り
827.03000

機械構成比： 15.86% 労務構成比： 75.54% 材料構成比： 8.60% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.30%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.56%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	66.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

頁0 -0003

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比:

SPK24040004

単第0 -0003 表

1
標準単価: m3 当り
6,330.20000

0.70% 労務構成比: 99.06% 材料構成比: 0.24% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.70%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.24%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

頁0 -0004

路床盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPK24040005

単第0 -0004 表

1
標準単価： m3 当り
869.10000

機械構成比： 15.83% 労務構成比： 75.68% 材料構成比： 8.49% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.93%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.90%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
運転手(特殊)	67.44%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

頁0 -0005

路床盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比:

SPK24040005

単第0 -0005 表

1
標準単価: m3 当り
6,427.10000

0.81% 労務構成比: 98.92% 材料構成比: 0.27% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.81%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	89.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

頁0 -0006

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 24.45% 労務構成比: 63.42% 材料構成比: 12.13% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040002
DID区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)

単第0 -0006 表
1
標準単価: 1,236.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=12 距離2.5km以下(1.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0007 表

1
標準単価: m3 当り
2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0008

埋戻し
土砂

SPK24040020
上記以外(小規模)

単第0 -0008 表

1
標準単価:

m3 当り
3,871.10000

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0009

埋戻し

SPK24040020

單第0 -0008 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48%

勞務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,871.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

重力式擁壁

擁壁平均高さ1m超2m未満

機械構成比: 3.28%

労務構成比:

SPK24040070

基礎碎石無し 均しCo有リ

69.49%

材料構成比:

27.23%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0009 表

1

標準単価:

m3

当り

69,393.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	2.12%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00160 MTPT00160
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	15.90%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	13.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	26.82%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0011

重力式擁壁

SPK24040070

单第0 -0009 表

擁壁平均高さ1m超2m未満

基礎碎石無し 均しCo有り

1

m3 当り

機械構成比: 3.28%

勞務構成比：

69.49%

材料構成比: 27.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

69,393.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

重力式擁壁
擁壁平均高さ2m以上5m以下
機械構成比：6.56%

SPK24040070
基礎砕石無し 均しCo有り
労務構成比：60.38%

単第0 -0010 表
市場単価構成比：0.00%

1
標準単価：57,724.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	4.75%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	13.85%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	13.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	2.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	32.25%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.59%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0013

重力式擁壁

SPK24040070

單第0 -0010 表

擁壁平均高さ2m以上5m以下

基礎碎石無し 均しCo有り

1

m3 当り

機械構成比: 6.56%

勞務構成比：

60.38%

材料構成比: 33.06%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

57,724.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

ヒューム管(B形管)

SPK24040090

単第0 -0011 表

据付 管径200mm 固定基礎90°巻き

基礎碎石有り 外圧管1種

1 m 当り

機械構成比: 2.95%

労務構成比:

62.13%

材料構成比:

34.92%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

15,151.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.64%		バックハウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	20.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	7.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
型わく工	6.92%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5372) 外圧管,B形1種,呼び径200,長さ2,000 参考質量103kg	26.66%		ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm		TTPC00107 TTPT00107
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	6.37%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003

施工単価表

ヒューム管(B形管)

据付 管径200mm 固定基礎90°巻き

機械構成比: 2.95%

SPK24040090

基礎碎石有り 外圧管1種

労務構成比: 62.13%

材料構成比: 34.92%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0011 表

1 m 当り

標準単価: 15,151.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油		1.69%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1	据付			B=1	管径200mm		
C=1	固定基礎90°巻き			D=1	基礎碎石有り		
E=1	外圧管1種			G=1	18-8-40BB		
H=2	小型車割増有			I=1	-(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0016

ヒューム管(B形管)

SPK24040090

単第0 -0012 表

据付 管径300mm 固定基礎90°巻き

基礎砕石有り 外圧管1種

1 m 当り

機械構成比: 2.40%

労務構成比:

58.63%

材料構成比:

38.97%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

18,574.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.15%		バックハウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
型わく工	7.63%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
運転手(特殊)	5.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5372) 外圧管,B形1種,呼び径300,長さ2,000 参考質量165kg	30.41%		ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm		TTPC00109 TTPT00109
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	7.02%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003

施工単価表

ヒューム管(B形管)

据付 管径300mm 固定基礎90°巻き

機械構成比: 2.40%

SPK24040090

基礎碎石有り 外圧管1種

労務構成比: 58.63%

材料構成比: 38.97%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0012 表

1 m 当り

標準単価: 18,574.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油		1.38%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=1 E=1 H=2	据付 固定基礎90°巻き 外圧管1種 小型車割増有			B=3 D=1 G=1 I=1	管径300mm 基礎碎石有り 18-8-40BB -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0018

暗渠排水管

据付 直管 200 ~ 400mm

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

SPK24040092
硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径300mm

12.99%

材料構成比: 87.01%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0013 表

1
標準単価:

m 当り
4,643.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	9.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径300(318×15.1) 参考質量21.962kg/m	87.01%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0398 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=55 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径300mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0019

L-2

V00001

單第0 -0014 表

10

m

当り

B300-H300 ~ 400

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0015 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 42.01% 材料構成比: 57.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 33,825.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0016 表

1
標準単価:

m2 当り
8,483.40000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		43.77%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		31.27%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		11.92%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=2	小型構造物		

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0017 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40% 材料構成比: 70.60% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
均しコンクリート
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0018 表

1
標準単価:

m2 当り
4,714.10000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		58.35%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		20.27%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		6.13%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=5	均しコンクリート		

施工単価表

止水板

SPK24040123

単第0 -0019 表

1
m 当り

幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 55.14%

材料構成比: 44.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 2,814.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	40.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
止水板-塩ビ製- CF(センターバルブ形フラット) 幅200mm,厚5mm	44.86%		塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm		TTPC00198 TTPT00198
積算単価			積算単価		EP001
A=1 幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)					

施工単価表

頁0 -0025

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0020 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0020 表

RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り
機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0027

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK24040241

単第0 -0021 表

1層当り平均仕上厚50mm

1 m2 当り
標準単価： 1,934.60000

機械構成比： 1.61% 労務構成比： 13.99% 材料構成比： 84.40% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.03%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0028

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK24040241

単第0 -0021 表

1層当り平均仕上厚50mm
機械構成比: 1.61% 労務構成比: 13.99% 材料構成比: 84.40% 市場単価構成比: 0.00%
標準単価: 1,934.60000 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	77.40%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0029

防護柵設置工(Gr) コンクリート建込

SS000123

單第0 -0022 表

- 塗装品 Gr-C-2B

[規]21m未満

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去
コンクリート建込

SS000127

單第0 -0023 表

1 m 当日

A, B, C (支柱間隔2m)

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0024 表

m3 当口

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

単第0 -0025 表
1
標準単価: 2,042.30000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

頁0 -0033

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0026 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)

1 t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54%

材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,144.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=10 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0034

上層路盤
全仕上り厚100mm 1層施工
機械構成比: 5.20% 労務構成比: 67.43% 材料構成比: 27.37% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0027 表 1 m2 当り 標準単価: 848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30～0mm	25.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤
全仕上り厚100mm 1層施工
機械構成比: 5.20% 労務構成比: 67.43% 材料構成比: 27.37% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040235

単第0 -0027 表

1
標準単価: 848.39000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0036

コンクリート舗装

V00002

單第0 -0028 表

1 m2 当り

t=10cm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0029 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40% 材料構成比: 70.60% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

赤坂30号線 数量 総括表

[illegible]

赤坂30号線 数量総括表						
工 種	種 別	細 目	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘 要
排水構造物工						
	作業土工					
	床 掘	土砂	m ³	20.7	20	排水構造物工集計表
	埋 戻		m ³	18.7	20	〃
	管渠工					
	VP φ 300		m	4.4	4	排水構造物工集計表
	P1-RC-D200		m	3.8	4	〃
	P1-RC-D300		m	4.3	4	〃
	場所打水路工					
	L-2	B300-H300～400	m	16.0	16	〃
舗装工						
	車道					
	路盤工	再生粒度調整 砕石RM-30t=100	m ²	34.3	34	舗装工集計表
	表層工	再生密粒度 アスコンt=50	m ²	34.3	34	〃
防護柵工						
	ガードレール	Gr-C-2B	m	2.5	3	防止柵工集計表
撤去工						
	構造物取壊工					
	コンクリート取壊		m ³	6.2	6	撤去工集計表
	ガードレール撤去		m	6.5	7	〃
	コンクリート殻運搬	無筋	m ³	6.2	6	〃
	コンクリート殻処理		t	14.6	15	〃
	スクラップ		t	0.1	0.1	〃 (参考)
雑工						
	昇降路-5		箇所	1.0	1	雑工集計表
	床掘		m ³	8.1	8	〃
	埋戻		m ³	4.9	5	〃
	盛土	2.5m≦W<4.0	m ³	38.4	40	〃
	重力式擁壁	H=1～2m	m ³	7.2	7	〃
	路盤工	RM-30, t=10cm	m ²	31.4	31	〃
	コンクリート舗装	t=10cm	m ²	31.4	31	〃

[illegible]

土工配分

発生土

掘削	石積	62.1	=	62.1	残土
掘削	粘性土	16.3	=	16.3	残土
床掘	擁壁工	28.6	=	28.6	
床掘	排水工	20.7	=	20.7	
床掘	昇降路	8.1	=	8.1	
計				57.4	(m3)

流用土

路床盛土	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$			34.0	
路床盛土	$2.5\text{m} > W$			14.7	
路体盛土	$4.0\text{m} \leq W$				
路体盛土	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$			28.1	
路体盛土	$2.5\text{m} > W$			3.2	
路床盛土(昇降路)	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$			38.4	
埋戻	擁壁工			12.2	
埋戻	排水工			18.7	
埋戻	昇降路	4.9	=	4.9	
計				154.2	(m3)

残土処分	硬岩		=	62.1	(m3)
	粘性土		=	16.3	(m3)

購入土	処理土(地山)	$154.2 / 0.9 - 57.4$	=	113.9	(m3)
	(ほぐし土量)	113.9×1.33	=	151.5	(m3)

[illegible]

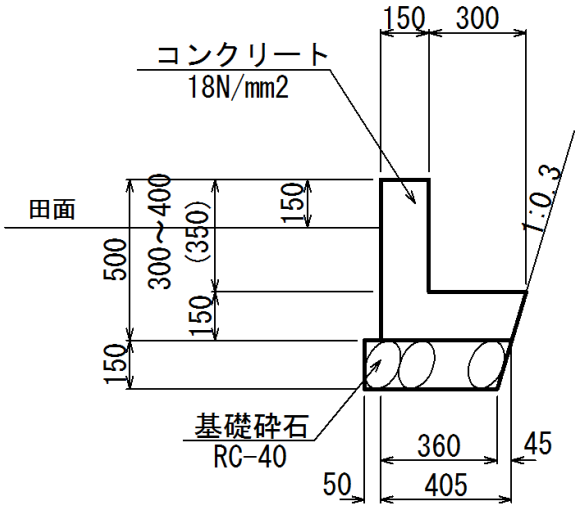
[illegible]

[illegible]

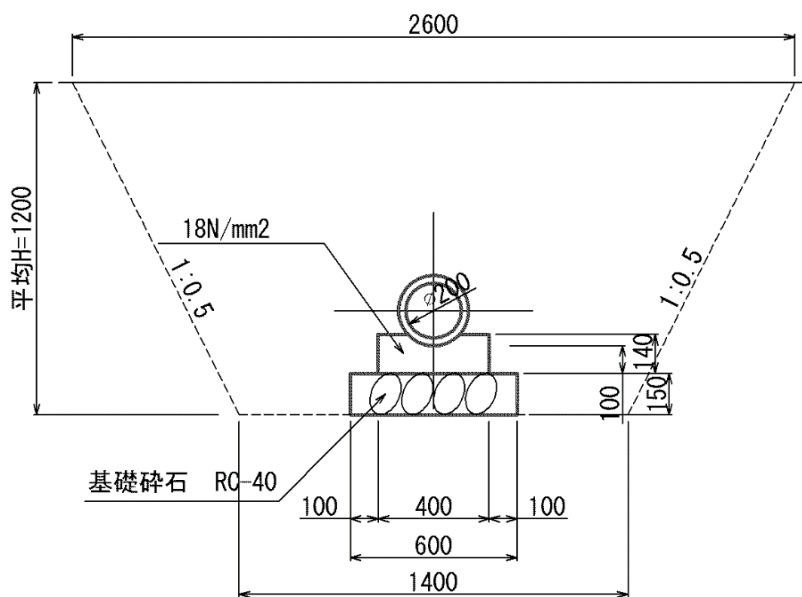
計第 表 重 力 式 擁 壁 (H2) 計 算 表 展開図より														
測 点	距 離	コンクリート			型枠						擁壁高			H2
		断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	平 積		平 均		断 面	平 均	平 積	
(右側)														
	0.0	1.24			3.4						1.7			1.68
NO.5	4.0	1.39	1.32	5.3	3.7	3.57	14.3				1.8	1.75	7.0	1.82
	4.4	1.60	1.50	6.6	4.1	3.90	17.2				2.0	1.91	8.4	2.00
												計	15.4	
											平均H			
											15.4/8.4=1.83(m)			
	8.4													
合 計				11.9			31.5							
		1.74			4.1						2.0			2.00
	3.5	1.96	1.85	6.5	4.5	4.30	15.1				2.2	2.08	7.3	2.16
	2.2	2.10	2.03	4.5	4.7	4.60	10.1				2.3	2.21	4.9	2.26
NO.5+13	2.9	2.22	2.16	6.3	4.8	4.75	13.8				2.3	2.30	6.7	2.34
	2.1	2.34	2.28	4.8	5.0	4.90	10.3				2.4	2.38	5.0	2.42
	0.4	0.00	1.17	0.5	0.0	2.50	1.0				0.0	1.21	0.5	0.0
		0.00			0.0						0.0			0.0
	0.4	2.34	1.17	0.5	5.0	2.50	1.0				2.4	1.21	0.5	2.42
	1.3	2.55	2.45	3.2	5.3	5.15	6.7				2.6	2.49	3.2	2.55
	0.3	0.00	1.28	0.4	0.0	2.65	0.8				0.0	1.28	0.4	0.00
												計	28.5	
											平均H			
											28.5/13.1=2.18(m)			
	13.1													
合 計				26.7			58.8							

計 算 表													
計 第 表		排 水 工											
測 点	距 離	L-2			VP φ 300								
		断 面	平 均	延 長	断 面	平 均	延 長		平 均		断 面	平 均	延 長
NO.4													
NO.5				4.0									
				5.7									
							4.4						
NO.5+13				2.9									
				2.1									
				1.3									
合計				16.0			4.4						
測 点	距 離	P1-RC-D200			P1-RC-D300								
		断 面	平 均	延 長	断 面	平 均	延 長	断 面	平 均	延 長	断 面	平 均	延 長
NO.4													
NO.5													
							3.8						
NO.5+13													
										4.3			
合計							3.8			4.3			

L-2 (B300-H300~400)

[illegible]

P1-RC-D200

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

計第 表 重 力 式 擁 壁 計 算 表 展開図より

[illegible]